

学力向上チャレンジ校だより

平成 28 年 9 月 20 日
(八次中学校区研究推進地域 第 7 号)

第 6 回研究授業及び研究協議会へのご参加ありがとうございました。今回の協議会の内容や指導助言を以下にまとめておりますので、全教科・全教職員で研究を推進していきましょう。

【第 6 回研究授業（国語）】 日時：平成 28 年 9 月 16 日（金）

単元名：説得力のある意見文を書こう

「未来がよりよくあるために」「平和のとりでを築く」

指導者：八次小学校 賀島直弥 教諭

★授業で提案した指導改善のポイント

- ★学習課題…①反証に焦点を絞り、反証の工夫や効果を読み取らせる。
- ②自分の意見文に「予想される反論」を書き加えさせる。



【研究協議会】

- 「説得力の意見文を書く」ことが、単元を貫く言語活動として設定されていた。
- 全文音読に全員が参加しており、課題意識・目的意識を持たず工夫も見られた。
- 切り返しの発問により、思考の深化や考えの共有を促すことができた。
- 「反証」や「反論」が理解できていない。→（改善案）本文と関連付けて理解させる。
他の文章や家庭学習で理解させる。
- 意見文の書き加えが難しかった。→（改善案）ペア学習で、自分以外の視点を取り入れる。
ノートではなく原稿用紙等を用いる。

指導助言

<三次市教育委員会 高下節雄 指導主事>

- ・「反証」の定義を明確にする必要がある。
- ・11 段落があった方がよかったかという発問により、全員が同じステージに立つことができた。
- ・拡大した本文は、段落ごとに区切ることで、取り外しが可能になり、上記の発問が考えやすくなる。

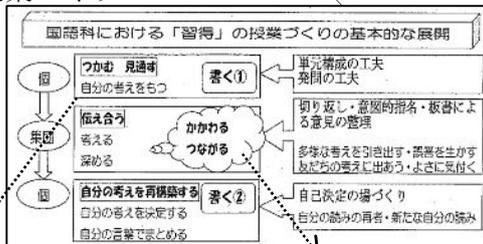
<広島県北部教育事務所 渡辺剛 指導主事>

(1) 本研究授業について

- ・学習のレリバンス（必然性）が明確であった。
- ・家庭学習課題である音読が、授業でも有効に生きていた。
- ・スモールステップを意識した学習計画が必要である。

(2) 習得の学習活動の工夫について

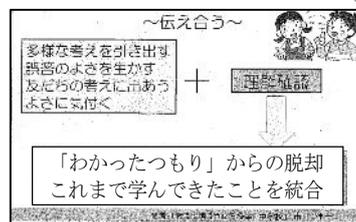
①授業づくり



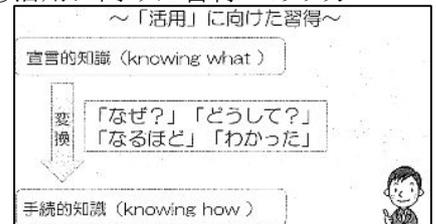
【学習課題】



【協同学習】



②活用に向けた習得のあり方



★どの教科にもつながる点★

- ①思考を深める切り返しの発問
- ②活用に向けた「習得」
- ③スモールステップの学習活動

